増田望三郎（ぼうさぶろう）の市議活動だより
連絡先：増田望三郎事務所　安曇野市三郷小倉 4028-1 安曇野地球宿内　TEL/FAX 0263-55-7414　メール boetu@d6.dion.ne.jp

安曇野レインボウ通信

第7号
発行責任者：増田望三郎
発行月：2015 年7月

みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。私の議員活動を報告する『安曇野レインボウ通信』を毎回の定例会後に年４回発行します。市民のみなさんと市政の間に虹（＝ Rainbow レインボウ）を架け、希望（希望の“望”は望三郎の“望”）あふれる市政にしていきます。市議ブログもどうぞ **http://bouzaburo.blog.fc2.com**

●増田望三郎のプロフィール

大分県出身、酒の弱い九州男児。気さくな46歳。東京を経由し、安曇野に移住し12年目。三郷小倉の地に妻と２人の子ども、妻の両親の３世代で暮らす。米や野菜などの自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿（ちきゅうやど）』を経営。2013年10月より安曇野市議。好きな言葉『出会い、共感、展開』

●巻頭言 安曇野における地方創生はどんなもの！？

日々の新聞やニュースで「地方創生」の言葉が出ない日は無く、現在、国の重要政策になっています。国から地方に向けて創生を促すのは、押し付け感がありますが、それでも故郷に残って地方で生きてきた人、また都市から地方に志を抱いて移り住んできた人にとっては、自分たちの暮らす地域の価値を改めて捉え直す機会にもなります。

私自身も、「これからは地方の時代だ！」と思い、12年前に東京を離れ、都市生活では得られなかった充実した安曇野暮らしをしています。私がこれまで実践してきたテーマや安曇野の特質をキーワードに表わすと、半農半Ｘ（エックス）、自然保育、自然農、ウーフ、農家民宿、自然分娩などがあります。いずれも高い経済効果を生み出すものではないかもしれませんが、右肩上がりの成長の時代が終焉を迎え、ダウンシフトが迫られる時代、これからの生き方やライフスタイルとして提案できるものであり、それは地方創生の中身とも言えるでしょう。

さらには古からの安曇野の風土や歴史、そして農業、農村文化などの本流も含め、安曇野は魅力満載で、雄大な北アルプスの景観をバックグラウンドに、人を惹きつけて止まない地でもあります。

そんな安曇野が地方創生の中身として、どのようなことを打ち出していけるのか。私は議員としてどのような提案を行政に対してできるのか。国の政策も追い風として利用し、**安曇野の地をさらにいいものにしていけるチャンスです。**

みなさんも、改めて安曇野の魅力は何だろう？ と安曇野創生の中身を一緒に考えていきませんか。

●望市議の議員活動を客観評価

「マニュフェスト」は政治家や政党の政策公約で、後にそれが実現されたのかどうかを検証できるように、いつまでに、どのように、どのくらいと言う目標値を示したものとされています。

私も任期４年の後半２年を迎えるにあたり、自分の議員活動が目指す方向性に向かうべく、残り２年のマニュフェストを創ろうとしています。その過程でまず必要なのは、望三郎議員のこれまでの１年半の議員活動への客観的評価をしてもらうことだと考えました。これまでの活動の到達点や課題、今後も伸ばしたい活動、さらには新たな取り組みへのなどを評価してもらい、それをベースに残りの２年の活動を描くのです。

なんとか及第点・・・・！？

この度、２人の安曇野市民の方に評価作業をお願いし、先頃評価報告を頂きました。議員活動を個人の恣意（しい）的なものに終わらせず、市民のチェックを受けることで議員としてレベルアップしていく。また市民にとっても議員を評価する視点を持つことは、政治参加と市民力の向上に繋がります。

相模原市では議員全員の評価を行う市民団体もあるとか。議員の客観評価は選挙の際にも大いに役立ちます。私が初めの一人となって議員の評価制度を実施し、市民のみなさんとの切磋琢磨し合える関係でありたいと思っています。

※望三郎議員の活動評価報告をご希望の方はお送りしますのでご連絡ください。

イラスト：西 絢子（にじ工房）

●６月定例会の一般質問

年４回行われる議会定例会では、議員自身がテーマを定めて市政を質したり、政策提案を行う「一般質問」ができます。６月定例会では以下の二つのテーマを取り上げました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

《質問１》10 年後 20 年後も安曇野ブランドのりんご産地であるために

望市議　市長は安曇野のリンゴ栽培について、どのような夢を描いているのか。

市長　リンゴの産地として地位を確立し、安曇野ブランドとして全国の消費者に愛されている。リンゴ栽培を行う新規就農者を増やしたい。栽培農家が増えれば果樹園が復元し、安曇野らしい風景が保たれ、住みたいと思う人も増え、人口減少に歯止めをかけられる。

望市議　先人が築き上げた安曇野ブランドを維持するには、もっと特化した施策が必要。リンゴの木自体を資産と捉え、栽培を止める農業者が果樹畑のまま担い手に貸借すれば、貸し手にブランド維持の報賞金を出すといったような具体的な施策はどうか？また圃場が次の担い手に確実に渡っていく制度はあるのか。

農林部長　『人・農地プラン』を地区ごとに行い、個々の農家の意向調査を実施している。圃（ほ）場の貸し手、借り手の意向を反映させ、橋渡しができるように取り組みを始めている。農業後継者や新規就農者が、こんな支援があれば栽培面積を増やして頑張りたいと思える施策を検討し、次年度から取り組みたい。ＪＡ関係機関と連携し、リンゴ栽培後継者の掘り起こしを積極的に取り組みたい。

【解説】

ブランドをつくり上げることと同じく、ブランドを維持していくことは、中途半端な取り組みでは実現できません。安曇野の基幹産業である農業、その中の優秀品目であるリンゴ。このブランドを維持するためにも、集中特化した施策展開が必要です。安曇野で農業の夢を描いて頑張る若手農業者を応援していきます。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

《質問２》安曇野の豊かな水環境を次世代に残そう

望市議　業者施設（貯留槽、除害施設）の処理能力を考えると、ある一定以上の雨量が降った場合に物理的にパンクしてしまい、適正な排水処理がされなくなってしまうが。

市民生活部長　この施設は雨水を粉じんの飛散防止の散水用に使用するために貯留し、処理するための施設なので、能力には限界がある。また全面をコンクリートで土間打ちしており、地下浸透升も使用できない状況なので、雨水処理の方策そのものが断たれている。

望市議　市はこの施設の排水汚水を全く安心のものと認識しているのか。

市民生活部長　全く安心ということはないが、木くずと接した雨水そのものが生活環境保全上の支障を生じさせるとは考えるのは難しい。

【解説】

前回に続き、北小倉の廃棄物処理施設問題を安曇野の水環境を守るという観点から追及しました。ある一定量の降雨の場合、貯留槽や除害施設の処理能力の点から対応しきれず、除害処理されない汚水がそのまま下水道排水、域外流出（鳴沢川に流入し、農業用水を汚す）、地下浸透してしまう可能性があります。ゲリラ豪雨は現実に起こっていますが、業者はどのように対応しているのでしょうか。

●今議会での発言から安保法制の意見書提出での議論

国会の会期を延長して議論をしている安保法制の関連法案。これについて安曇野市議会では当初２つの意見書が出されました。１つは私も賛成者になった「法案の撤回」を求めるもの。もう１つは「徹底審議」を求めるもの。私はどちらの意見書も賛成しましたが、「法案は憲法違反である」という内容のため、多数会派・公明党会派の方たちに反対され不採択となりました。

その後、動議が多数会派の議員から出され、「慎重審議」を求める意見書が新たに提出されました。これは先の「徹底審議」の意見書から、憲法違反とする内容の文言を削ったものでした。この削除部分こそが今回の議論の確信であるわけで、それを削っておいて何を慎重審議せよというのか。意見書の提出という体面と形式にのみこだわった実質のない意見書だと思い、反対しました。（結果は採択。）

●サポーターからの応援メッセージその６

中田信一郎さん
（三郷、りんご農家）

祖父の代から続くリンゴ園を継ぎ、就農して７年になります。望さんとは就農する前から、また望さんが地球宿を始める前からのつき合いで、私がリンゴ園を継ぐ事、望さんの地球宿経営の夢を、語り合ったのを覚えています。「楽しい事を運んできてくれる人」というのが望さんに対する人物像で、望さんが今まで企画したイベントは、地域の人達に、「楽しいな」を運んできてくれました。

望さんは今、市議として活躍しています。生産人口が減り、地域社会を担っていく多くの若者が、将来に希望を持てないでいる中、市議になった事は本当に勇気ある事だと思います。市議と言う仕事は、この先 10 年後、20 年後の安曇野市を見据え、その礎を築くという、大変な仕事を担っているからです。

望さんは市議の中で最も若く、また初めての議員活動という事で、不慣れな事もあると思いますが、ご自身の感性で自信をもって発言し、議会を盛り上げてほしいです。そして、私達に「楽しいな」といった明るい希望を運んでくれることを、心より期待しています。

●お知らせ

～４人の無所属議員による合同の活動報告会をやります～

去る４月 18 日、無所属議員（荻原勝昭議員、小林純子議員、林孝彦議員、増田望三郎）による合同の議員活動報告会を行いました。参加された市民は熱心な方が多く、予定を１時間延長しての閉会となりました。どの方の発言も考えさせられる内容で、たくさんの宿題を頂きました。また複数の市議が合同で報告会をやることで、議員の存在や活動をある程度の厚みをもって知ってもらえたと思っています。今回も４議員の合同報告会を行います。お気軽にご参加ください。お子さん連れも歓迎です。

日時：７月 17 日（金）午後７時～
場所：穂高会館